



2021年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年9月29日

上場会社名 DCMホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3050 URL <https://www.dcm-hldgs.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 兼 COO (氏名) 石黒 靖規
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員財務統括部長 (氏名) 熊谷 寿人 TEL 03-5764-5214
 四半期報告書提出予定日 2020年10月8日 配当支払開始予定日 2020年11月2日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・証券アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2021年2月期第2四半期の連結業績（2020年3月1日～2020年8月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年2月期第2四半期	253,019	11.0	22,300	75.9	22,237	78.5	15,136	78.4
2020年2月期第2四半期	227,867	△1.8	12,678	△2.1	12,455	1.0	8,486	4.1

(注) 包括利益 2021年2月期第2四半期 17,569百万円 (144.9%) 2020年2月期第2四半期 7,174百万円 (△25.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年2月期第2四半期	108.44	98.79
2020年2月期第2四半期	63.48	55.02

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年2月期第2四半期	480,932	229,613	47.7
2020年2月期	434,733	200,213	46.1

(参考) 自己資本 2021年2月期第2四半期 229,613百万円 2020年2月期 200,213百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年2月期	—	14.00	—	14.00	28.00
2021年2月期	—	16.00	—	—	—
2021年2月期（予想）	—	—	—	14.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

3. 2021年2月期の連結業績予想（2020年3月1日～2021年2月28日）

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	462,000	5.6	30,100	44.5	29,500	46.7	19,500	41.5	139.71

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年2月期2Q	160,536,684株	2020年2月期	146,470,466株
② 期末自己株式数	2021年2月期2Q	9,862,860株	2020年2月期	10,022,020株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年2月期2Q	139,577,754株	2020年2月期2Q	133,684,816株

(注)自己株式数には、「役員報酬BIP信託口」及び「従業員ESOP信託口」の所有する当社株式が含まれております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想等の将来に関する記載は、当社が発表日現在において入手可能な情報に基づいており、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
3. 補足情報	10
商品別売上情報	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による緊急事態宣言は解除されましたが、世界的に感染が広がっている新型コロナウイルス感染症の影響により、非常に厳しい状況となりました。

小売業界におきましては、未だ収束が見えない新型コロナウイルス感染症による景気の下振れリスク、個人所得や雇用の悪化リスクなど、先行きは不透明で厳しい経営環境にあります。

このような状況のもと、当社グループが営むホームセンター事業については、社会的なインフラとしての役割を果たすべく、「小売業の店舗における新型コロナウイルス感染症感染拡大予防ガイドライン」に基づき、お客さま及び従業員の安全と健康を最優先に考え、感染拡大防止策を講じながら営業を継続してまいりました。また、サプライチェーンの停滞により、DCMブランド商品や季節商材などの商品供給に一部遅れがみられることがありましたが、現在は商品供給に遅れはありません。

販売面においては、マスクやアルコール除菌、ハンドソープなど新型コロナウイルス対策商品が好調に推移しました。また、外出自粛による家庭内需要の増加や在宅勤務の拡大など生活様式の変化により、園芸用品、DIY用品、インテリア用品などが好調でした。一方で、消費税増税の反動減と新型コロナウイルス感染拡大により工事リフォーム関連は低調となりました。DCMブランド商品については、商品開発・店舗での販促強化などに取り組んだ効果により好調に推移しました。

当社グループの新規出店については6店舗、退店については2店舗を実施しました。これにより、当第2四半期連結会計期間末日現在の店舗数は677店舗（DCMカーマ168店舗、DCMダイキ156店舗、DCMホームマック299店舗、DCMサンワ32店舗、DCMくろがねや22店舗）となりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の営業収益は2,530億1千9百万円（前年同期比111.0%）、営業利益は223億0百万円（前年同期比175.9%）、経常利益は222億3千7百万円（前年同期比178.5%）、親会社株主に帰属する四半期純利益は151億3千6百万円（前年同期比178.4%）となりました。

なお、セグメントごとの経営成績については、9ページ「セグメント情報等」をご覧ください。

(主要商品部門別の状況)

① 園芸部門

生活様式の変化によりガーデニングの需要が拡大し、園芸用品や植物、屋外資材などが好調に推移しました。DCMブランド商品は、除草剤を始めとして人工芝やホースリールが好調でした。その結果、売上高は422億9千3百万円（前年同期比114.1%）となりました。

② ホームインブルーメント部門

家で過ごす時間が増加したことによりDIY需要が拡大し、木材などの資材、塗料、補修用品や電動工具が好調に推移しました。DCMブランド商品では、換気意識の高まりや気温の上昇もあり網戸用品が好調でした。その結果、売上高は516億3百万円（前年同期比115.4%）となりました。

③ ホームレジャー・ペット部門

外出自粛や在宅勤務拡大の影響を受けて、室内スポーツ・トレーニング用品が好調に推移しました。また、近場で楽しめるレジャー用品も好調でした。その結果、売上高は371億6千8百万円（前年同期比107.2%）となりました。

④ ハウスキーピング部門

新型コロナウイルス感染対策としてマスクやアルコール除菌関連商品等が好調に推移しました。また、家庭内で過ごす時間が増えたことにより、調理用品や清掃用品も好調に推移しました。DCMブランド商品は室内空間除菌や殺虫剤が好調でした。その結果、売上高は588億4千2百万円（前年同期比111.1%）となりました。

⑤ ホームファニッシング部門

在宅勤務の拡大によってビジネスチェアやデスク等のオフィス家具が好調に推移しました。また、季節商品については猛暑の影響もあり、すだれ、ラグ、冷感寝具などが好調でした。その結果、売上高は149億9千4百万円（前年同期比114.0%）となりました。

⑥ ホームエレクトロニクス部門

家で過ごす時間が増えたことや梅雨明け後の猛暑の影響もあり、空調冷房機器や調理家電が好調に推移しました。一方、エクステリア・リフォーム等は消費税増税の反動減と新型コロナウイルス感染拡大により敬遠されたことから低調となりました。その結果、売上高は226億2千2百万円（前年同期比112.9%）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における資産残高は、新規借入による現預金の増加や、季節的要因による売掛金の増加などにより、資産合計は前連結会計年度末に比較して461億9千9百万円増加し、4,809億3千2百万円となりました。

負債残高は、新株予約権付社債の転換が進んだ一方、借入金が増加したことなどから、負債合計は前連結会計年度末に比較して167億9千9百万円増加し、2,513億1千9百万円となりました。

純資産残高は、配当金の支払いによる減少の一方、新株予約権付社債の転換による資本金及び資本剰余金、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による増加などから、純資産合計は前連結会計年度末に比較して294億0百万円増加し、2,296億1千3百万円となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益219億8千0百万円に、減価償却費56億5千9百万円を加算する一方、季節的要因によるたな売上債権の増加額61億6千0百万円、法人税等の支払額39億4千1百万円を減算するなどして、221億3千7百万円の収入（前年同期は278億8千3百万円の収入）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、新規出店や改装などの有形固定資産の取得による支出59億9千2百万円、ソフトウェアなどの無形固定資産の取得による支出6億9千3百万円などにより、60億8千1百万円の支出（前年同期は23億3千9百万円の支出）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の実行による375億円の収入の一方、短期借入金の純減124億円、長期借入金の返済による支出23億7百万円、配当金支払いによる支出19億2千8百万円などにより、202億6千9百万円の収入（前年同期は71億7千1百万円の支出）となりました。

これらの結果、当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物は前連結会計年度末に比べ363億2千5百万円増加し、745億9千7百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年2月期の業績予想については、2020年9月18日に公表いたしました業績予想からの変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	38,306	74,619
受取手形及び売掛金	14,883	21,044
リース投資資産	1,321	1,302
商品	99,606	97,781
その他	7,500	7,415
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	161,618	202,162
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	224,148	224,038
減価償却累計額	△134,234	△135,441
建物及び構築物(純額)	89,913	88,596
土地	81,979	81,965
リース資産	19,736	20,863
減価償却累計額	△5,726	△6,171
リース資産(純額)	14,009	14,692
建設仮勘定	3,526	7,624
その他	39,980	40,072
減価償却累計額	△33,476	△33,974
その他(純額)	6,503	6,097
有形固定資産合計	195,932	198,977
無形固定資産		
のれん	1,025	878
借地権	6,375	6,386
ソフトウェア	5,285	5,062
その他	38	35
無形固定資産合計	12,725	12,362
投資その他の資産		
投資有価証券	19,604	23,370
敷金及び保証金	39,333	38,897
繰延税金資産	2,653	2,547
長期前払費用	2,156	1,913
その他	778	769
貸倒引当金	△70	△70
投資その他の資産合計	64,456	67,429
固定資産合計	273,114	278,769
資産合計	434,733	480,932

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	32,657	36,665
電子記録債務	29,480	24,286
短期借入金	12,400	—
1年内償還予定の新株予約権付社債	16,121	2,533
1年内返済予定の長期借入金	6,379	13,111
リース債務	1,178	1,222
未払法人税等	4,011	7,800
賞与引当金	1,906	2,662
役員賞与引当金	—	18
ポイント引当金	1,254	2,257
その他	14,353	16,363
流動負債合計	119,743	106,920
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	78,324	106,785
リース債務	15,755	16,213
繰延税金負債	566	1,233
再評価に係る繰延税金負債	147	147
役員株式給付引当金	90	9
退職給付に係る負債	286	288
資産除去債務	1,964	1,989
長期預り金	4,983	4,913
その他	2,656	2,817
固定負債合計	114,776	144,398
負債合計	234,519	251,319
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,939	18,733
資本剰余金	47,017	53,811
利益剰余金	150,029	163,254
自己株式	△10,114	△9,961
株主資本合計	198,871	225,838
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,220	5,668
繰延ヘッジ損益	△1	△7
土地再評価差額金	△1,935	△1,935
退職給付に係る調整累計額	58	50
その他の包括利益累計額合計	1,341	3,775
純資産合計	200,213	229,613
負債純資産合計	434,733	480,932

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)
売上高	224,213	249,538
売上原価	150,643	165,665
売上総利益	73,570	83,872
営業収入		
不動産賃貸収入	3,653	3,481
営業総利益	77,224	87,354
販売費及び一般管理費	64,545	65,053
営業利益	12,678	22,300
営業外収益		
受取利息	85	73
受取配当金	112	119
為替差益	164	117
持分法による投資利益	267	519
その他	212	208
営業外収益合計	842	1,038
営業外費用		
支払利息	957	1,015
その他	107	86
営業外費用合計	1,065	1,102
経常利益	12,455	22,237
特別利益		
固定資産売却益	0	19
投資有価証券売却益	0	44
子会社清算益	60	-
その他	-	26
特別利益合計	60	90
特別損失		
固定資産除売却損	109	170
減損損失	14	14
投資有価証券評価損	70	124
その他	41	37
特別損失合計	236	346
税金等調整前四半期純利益	12,279	21,980
法人税、住民税及び事業税	2,844	7,044
法人税等調整額	948	△200
法人税等合計	3,792	6,844
四半期純利益	8,486	15,136
親会社株主に帰属する四半期純利益	8,486	15,136

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)
四半期純利益	8,486	15,136
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,202	2,241
繰延ヘッジ損益	△26	△6
退職給付に係る調整額	△13	△6
持分法適用会社に対する持分相当額	△69	204
その他の包括利益合計	△1,311	2,433
四半期包括利益	7,174	17,569
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,174	17,569
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	12,279	21,980
減価償却費	5,819	5,659
減損損失	14	14
のれん償却額	147	147
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△1,103	755
受取利息及び受取配当金	△198	△193
支払利息	957	1,015
固定資産除売却損益 (△は益)	109	151
持分法による投資損益 (△は益)	△267	△519
売上債権の増減額 (△は増加)	△4,744	△6,160
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△4,904	1,839
仕入債務の増減額 (△は減少)	22,250	△1,185
その他	1,016	1,729
小計	31,377	25,234
利息及び配当金の受取額	279	275
利息の支払額	△956	△1,014
法人税等の支払額	△4,117	△3,941
法人税等の還付額	1,299	1,584
営業活動によるキャッシュ・フロー	27,883	22,137
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,049	△5,992
有形固定資産の売却による収入	167	84
無形固定資産の取得による支出	△1,166	△693
敷金及び保証金の差入による支出	△417	△395
敷金及び保証金の回収による収入	906	798
投資有価証券の売却による収入	—	117
投資有価証券の取得による支出	△111	△100
貸付金の回収による収入	30	27
子会社の清算による収入	187	—
その他	113	73
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,339	△6,081
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1,600	△12,400
長期借入れによる収入	1,000	37,500
長期借入金の返済による支出	△4,437	△2,307
自己株式の取得による支出	△1	△1
配当金の支払額	△1,872	△1,928
その他	△260	△592
財務活動によるキャッシュ・フロー	△7,171	20,269
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	18,372	36,325
現金及び現金同等物の期首残高	15,741	38,272
現金及び現金同等物の四半期末残高	34,113	74,597

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、当第2四半期連結累計期間において、2015年12月21日に発行した「第1回無担保転換社債型新株予約権付社債」の新株への転換行使が大幅に進んだことから、資本金及び資本剰余金がそれぞれ6,794百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末において資本金が18,733百万円、資本剰余金が53,811百万円となりました。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	計	調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3
	DCMカーマ	DCMダイキ	DCMホーマック				
営業収益							
外部顧客への売上高	64,479	43,887	93,823	25,676	227,867	—	227,867
セグメント間の内部 売上高又は振替高	79	2	5	28,580	28,669	△28,669	—
計	64,558	43,890	93,828	54,257	256,536	△28,669	227,867
セグメント利益	3,699	2,062	6,022	3,907	15,692	△3,014	12,678

(注) 1. その他は、DCMホールディングス(株)、DCMサンワ(株)、DCMくろがねや(株)及び(株)マイボフェローズにおける取引等です。

2. セグメント利益の調整額△3,014百万円は、セグメント間取引消去△3,012百万円、その他△1百万円であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	計	調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3
	DCMカーマ	DCMダイキ	DCMホーマック				
営業収益							
外部顧客への売上高	72,974	48,599	104,021	27,424	253,019	—	253,019
セグメント間の内部 売上高又は振替高	79	4	9	30,482	30,575	△30,575	—
計	73,053	48,604	104,030	57,906	283,595	△30,575	253,019
セグメント利益	6,534	3,876	9,870	5,682	25,964	△3,664	22,300

(注) 1. その他は、DCMホールディングス(株)、DCMサンワ(株)、DCMくろがねや(株)及び(株)マイボフェローズにおける取引等です。

2. セグメント利益の調整額△3,664百万円は、セグメント間取引消去△3,662百万円、その他△1百万円であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 補足情報

商品別売上情報

(単位：百万円、%)

事業部門	前第2四半期 連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)		当第2四半期 連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)		(参考) 前連結会計年度 (自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
ホームセンター事業						
園芸	37,056	16.5	42,293	16.9	58,797	13.7
ホームインプルーブメント	44,704	19.9	51,603	20.7	87,764	20.4
ホームレジャー・ペット	34,684	15.5	37,168	14.9	63,781	14.8
ハウスキーピング	52,957	23.7	58,842	23.6	104,790	24.4
ホームファニシング	13,152	5.9	14,994	6.0	25,496	5.9
ホームエレクトロニクス	20,039	8.9	22,622	9.1	45,325	10.5
その他	15,950	7.1	16,156	6.5	33,008	7.7
ホームセンター事業計	218,544	97.5	243,682	97.7	418,964	97.4
商品供給高	5,668	2.5	5,856	2.3	11,036	2.6
合計	224,213	100.0	249,538	100.0	430,000	100.0

(注) 1. 記載金額には消費税等は含まれておりません。

2. ホームセンター事業の部門別の主な取扱商品は、次のとおりであります。

部門	取扱商品
園芸	園芸用品、大型機械、農業・業務資材、屋外資材、植物他
ホームインプルーブメント	作業用品、金物、工具、塗料、補修、木材、建築資材他
ホームレジャー・ペット	カー用品、スポーツ、玩具、自転車、レジャー、ペット用品他
ハウスキーピング	日用消耗品、文具、ダイニング・キッチン、バス・トイレタリー、ヘルスケア・ビューティケア、食品他
ホームファニシング	インテリア、寝具、家具収納他
ホームエレクトロニクス	家庭電器、冷暖房、電材・照明、AV情報機器、住宅設備、エクステリア他
その他	テナント植物、テナントペット、灯油、工事費、サービス料他